

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。[被災者の方々へのサービスはこちら。](#)

第191号

w e b 版 図書館 し が

平成23年(2011年)4月1日 編集・発行：滋賀県立図書館

江 姫 の ふ る さ と 北 近 江

NHKの大河ドラマ「江～姫たちの戦国」の放映も3ヵ月を過ぎ、いよいよ佳境に入ってきました。県内でも「江・浅井三姉妹博覧会」など多くのイベントが開催され、にぎわっています。江の生涯に関しては昨年からたくさんの図書が出版されていますが、今号は江の原点である浅井氏、ゆかりの人々や北近江の史跡についてご紹介します。

【小谷城跡から湖北地方を望む】



☀ 浅井氏の盛衰 ☾

《浅井氏の台頭》



浅井氏は、現在の長浜市小谷丁野町（おだにようのちょう）付近に本拠を置いた地侍で、近江の北半分を支配していた京極氏（きょうごくし）の家臣でした。大永3（1523）年京極氏に後継者問題が発生したのを機に亮政（すけまさ）が頭角をあらわし、やがて主家をしのぎ、小谷城を築いて戦国大名への道を歩み始めました。亮政の台頭に脅威を抱いた湖南の支配者六角氏（ろっかくし）から度々攻撃を受けましたが、越前（現、福井県）の朝倉氏などの援助を得て、湖北の地を守り抜きました。

後を継いだのが久政（ひさまさ）で、政治・軍事的には六角氏に従属したものの、領国内の民政に力を注ぎ、戦国大名としての基盤を一層強固なものにしました。

《長政の登場と三姉妹の誕生》

長政も当初は六角氏の傘下にありましたが、永禄3（1560）年に彦根市野良田（のらだ）の合戦で六角氏に勝利して決別しました。

さらに、翌年長政に大きな転機が訪れます。尾張（現、愛知県）の織田信長と同盟が成立したのです。当時信長は美濃（現、岐阜県）の斎藤氏を攻めており、その背後に位置する浅井氏を味方に引き入れる必要がありました。同盟の証しとして、信長の妹お市が長政と結婚しました。二人の仲はむつまじく、やがて茶々（淀殿、豊臣秀吉側室）、初（京極高次正室）、江（徳川秀忠正室）の浅井三姉妹が誕生します。

折りしも、六角氏では永禄6（1563）年に、当主義弼（よしすけ）が突然重臣父子を殺害した「観音寺騒動」が発生しました。これを見た長政は六角領へ進攻して、旧領の坂田・東浅井・伊香郡に加えて、犬上・愛知郡のほか湖西の高島郡も支配下におさめるようになりました。

【浅井氏メモ 1】

浅井氏は「あさい」と読むのが正しいのでしょうか、それとも「あざい」が正しいのでしょうか。

多くの歴史や人名の事（辞）典では「あさい」と記載しています。これは、10世紀前半に作成された百科事典『和名類聚抄』（わみょうるいじゅうしょう）の室町時代の写本である東急本（大東急記念文庫蔵）が、「阿佐井」と訓じているのを根拠としています。いっぽう「あざい」説は、室町時代の国語辞書『節用集』（せつようしゅう）の写本で、江戸時代に広く流布した易林本が「アザ井」と訓じているのを根拠としています。なお、滋賀県の行政地名では「あざい」の方を採用しています。

《浅井氏の滅亡》

しかし、浅井氏の全盛時代は長く続かず、元亀元（1570）年4月に信長が越前の朝倉氏を攻めたことで運命が暗転します。この時長政は、信長との同盟よりも従来から関係の深かった朝倉氏を救援することを選びました。長政の離反を聞いた信長は、急いで越前から湖西の朽木谷を通して京都に逃れました。この時、お市の方が両端を結んだ小豆の袋を送って、信長に危機を知らせたことがよくドラマなどで取り上げられますが、俗説のようです。

態勢を整え直した信長は、徳川家康の加勢を得て湖北に迫りました。同年6月に浅井・朝倉連合軍は織田・徳川連合軍を姉川で迎え撃ちましたが、大敗しました。浅井氏はその後3年間命脈を保ちますが、やがて有力家臣の離脱が相次ぐようになり、元亀3（1573）年6月に小谷城が落城、長政も自刃して、浅井氏は滅亡しました。

お市の方や茶々、初、江の姉妹は城を脱出して、それぞれ数奇な運命をたどることになります。



『近江浅井氏の研究』 小和田哲男著 清文堂出版 2005年

『浅井氏三代』 宮島敬一著 吉川弘文館 2008年

『戦国大名浅井氏と北近江』 長浜市長浜城歴史博物館編集・発行 2008年

『浅井長政のすべて』 小和田哲男編 新人物往来社 2008年

☀ 江を取り巻いた人々 ☾

江を取り巻いた人々には、父の長政、母のお市、姉の茶々、初のほか伯父の織田信長など数多くいますが、ここでは皆さんにあまり馴染みのないと思われる3名の人々をご紹介します。

◇浅井喜八郎（井頼、作庵）



喜八郎は長政と側室との間に生まれた子供で、江の異母兄弟の一人です。同じく異母兄弟である長男の万福丸は小谷城落城後、信長の命令をうけた羽柴（豊臣）秀吉の手により処刑されました。いっぽう喜八郎は生き残り、成人して井頼、さらに作庵と名乗りました。秀吉の養子於次秀勝（おつぎひでかつ）などに仕え、関ヶ原の合戦後は讃岐（現、香川県）の大名生駒氏に身を寄せていたといわれています。大阪の陣では豊臣方として戦いましたが、戦後は江の姉初の縁で、京極家に客分として迎えられました。その後京極家の移封に伴って、最後には讃岐丸亀に移り、子孫は同藩士となりました。

『花々の系譜』 畑裕子著 サンライズ出版 2009年

『戦国三姉妹物語』 小和田哲男著 角川出版 1997年

◇京極マリア

浅井長政の姉で、江にとっては伯母にあたります。京極高吉（たかよし）との間に龍子や高次（たかつぐ）を設けました。キリシタンでもあり、その生き方は明智光秀の娘細川ガラシャに大きな影響を与えました。龍子は豊臣秀吉の側室の一人となり、高次は江の次姉初と結婚しました。

『京極マリア』 渋谷美枝子著 船田企画 1983年

『戦国天使京極マリア』 渋谷美枝子著 1997年

『近江戦国の女たち』 畑裕子著 サンライズ出版 2005年

◇豊臣秀次



秀吉の甥で、養子になりました。江には二番目の夫秀勝の兄に当たります。八幡山山頂に城を築いて、近江八幡発展の基礎を作りました。のちに秀吉から譲られて閑白となりました。しかし、秀吉と淀殿（茶々）との間に秀頼が生まれると、次第に疎まれるようになり、文禄4（1595）年に高野山に追放となり、自害しました。素行の悪さが世上に流布していますが、教養人であり、近江八幡では「名君」として慕われています。

『有明の月』 澤田ふじ子著 広済堂出版 1993年

『豊臣秀次』 小和田哲男著 PHP研究所 2002年

『豊臣秀次の研究』 藤田恒春著 文献出版 2003年

【浅井氏メモ 2】

浅井氏二代目久政は、初代亮政と三代長政の間であって、目立たない存在です。『浅井三代記』など軍記物では、無能な当主として描かれています。久政は戦いに明け暮れた亮政とは異なり、湖南の支配者六角氏との融和を図り、事実上その傘下に入りました。

しかし、いっぽうでは旧主家京極氏との和解を進めたり、高時川上流に井堰を築いたりして領内の民政に力を注ぎ、浅井氏の基盤を一層強固なものにしました。その治政は『浅井氏三代』（宮島敬一著 吉川弘文館 2008年）などでも高く評価されています。久政は小谷城落城の際に、長政とともに死亡しました。

☀ 北近江の浅井氏関係遺跡 ☾

北近江の浅井氏関係の遺跡は、家臣の城跡や合戦場なども含めるとたいへん多く存在します。ここでは、主な五つの史跡をご紹介します。

◇小谷城跡（長浜市湖北町伊部）

小谷山に建てられた浅井氏三代の居城で、戦国時代の典型的な山城の一つです。山上からは湖北三郡が一望できます。東の尾根を中心に、自然の地形を利用して、本丸や京極丸などの郭が配置されていました。ふもとの清水谷には、浅井氏一族や家臣たちが平時に生活する屋敷がありました。



◇小谷寺（長浜市湖北町伊部）



浅井氏の祈禱所です。小谷城落城の際に焼失しましたが、のちに豊臣秀吉により、寺地を現在地に移して再建されました。三姉妹にとってこの寺は心のよりどころでした。

◇実宰院（長浜市浅井町平塚）

長政の姉である昌安見久尼（しょうあんけんきゅうに）が再興した曹洞宗の寺院です。見久尼は小谷城落城直前に、長政から三姉妹の養育を依頼されて匿ったといわれています。また、後年柴田勝家（しばたかついえ）の北庄城（きたのしょうじょう）が落城した際にも、落ち延びた三姉妹を匿ったとの伝えもあります。本堂には茶々が寄進した見久尼の木像があります。

◇徳勝寺（長浜市平方町）

浅井氏の菩提寺です。元は小谷山麓の清水谷にありましたが、のちに秀吉が現在地に移転しました。境内に亮政・久政・長政三代の墓が並んでいます。また、浅井氏三代の木像や長政の画像など、ゆかりの遺品が多く残されています。



◇姉川古戦場（長浜市野村町）

元亀元（1570）年6月28日に、浅井・朝倉軍1万8000人と、織田・徳川軍2万9000人が戦った合戦場です。両軍で戦死者は約2500人、負傷者はその3倍にのぼり、姉川は血で真っ赤に染まったといわれています。なお、この付近には合戦関係の史跡が多く存在しています。

『歩いて知る浅井氏の興亡』 長浜市長浜城歴史博物館編著 サンライズ出版 2008年

『戦国の聖地を巡る』 江・浅井三姉妹博覧会実行委員会 2010年

『江』 日本放送出版協会 2011年

『江史跡紀行』 新人物往来社 2011年

『近江戦国の道』 淡海文化を育てる会編 サンライズ出版印刷部

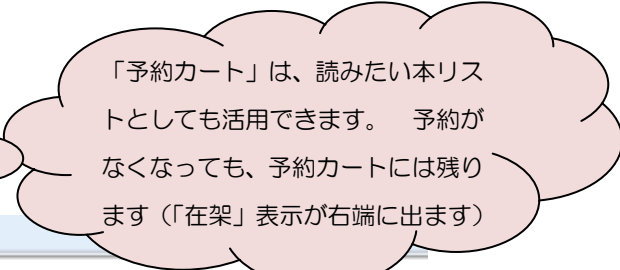
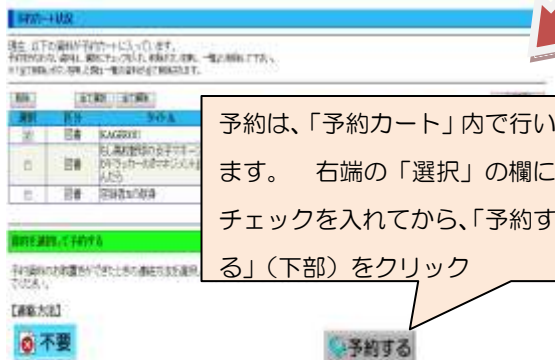
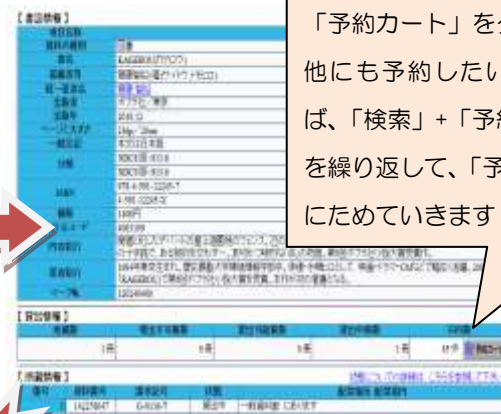
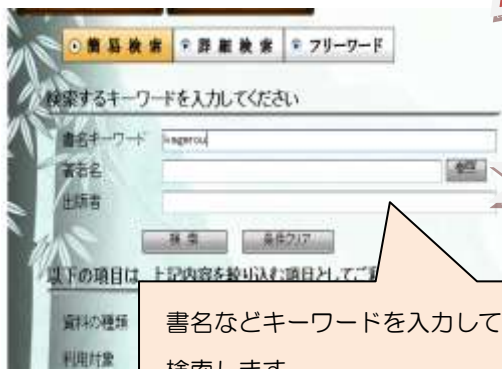
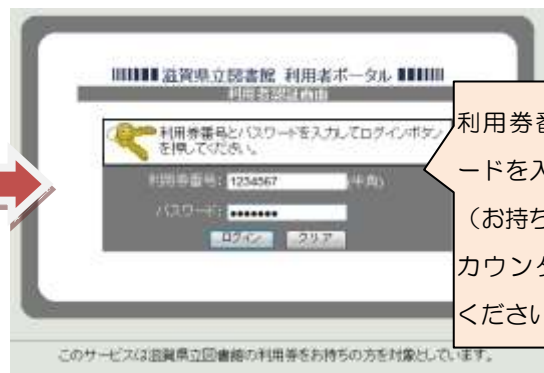
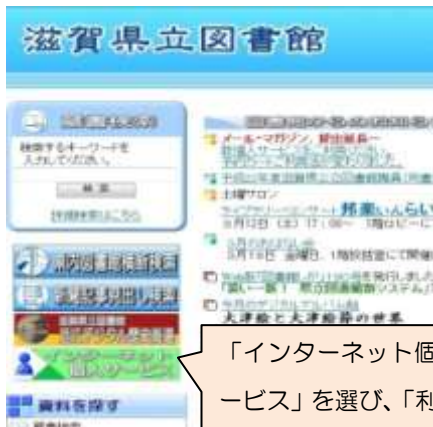
今月のbookまーく

《図書館ホームページの予約機能を使いこなそう！》

1月から新しくなった図書館のホームページ。以前からもご予約いただきましたが、よりいっそう便利になりました。

読みたい本や雑誌が貸出中でしたら、予約してみませんか。

では、インターネットで図書館ホームページにアクセスして、実際に予約してみましょう。



ご覧いただけるようになり次第、ご案内いたしますので、楽しみに!

FLASH☆フラッシュ

☆図書館の行事を振り返って☆



〔 1月22日(土) 畑裕子氏講演会 ～お市の方と浅井三姉妹～ 〕

浅井三姉妹の二女・初を描いた『花々の系譜』(サンライズ出版'09年刊)の作者、畑裕子さんの講演会を開催しました。戦国の世を懸命に生き抜いた茶々・初・江の浅井三姉妹と、その母お市の方の生涯やゆかりの地についてのお話がありました。当日は110名の参加者があり大盛況でした。

〔 2月11日(金・祝) 冬の図書館探検 〕

図書館探検では、図書館地下書庫をご案内するとともに、当館所蔵の絵図などをご覧いただいています。今回はNHK大河ドラマ「江」の放映にちなんで、浅井氏に関する資料も見いただきました。江戸時代の絵図をご覧になった利用者の方からは「とても鮮やかできれいですね」と感心する声がありました。午前と午後の部を合わせて63名の参加者があり、好評でした。



〔 2月19日(土) ピアノコンサート ～ Winter Fantasy ～ 〕

県内在住の若手ピアニスト光岡萌さんによるピアノコンサートを1階ロビーで開催しました。ディズニーの名曲「美女と野獣」や、ショパンの「ノクターン」などが演奏され、120の方がロマンティックな旋律を楽しめました。館内はひととき、幻想的な夢の世界に包まれていました。



〔 3月12日（土） 邦楽コンサート
～邦楽いんらいぶらりい～ 〕

閉館後、図書館1階ロビーにて「澤千左子と千の会」の皆さんによる邦楽の演奏会を開催し、120名の方にご来場いただきました。「春よこい」や「朧月夜」などの曲が箏や尺八の音色で奏でられ、雅やかな日本の春を感じる夕べとなりました。



展示会の報告



(人権啓発資料展 展示風景)

☆ 図書館企画展示 ☆

《人権啓発資料展》

期間…平成22年12月8日(水)～12月23日(木)

場所…参考資料室

12月4日から12月10日までの一週間は「人権週間」と定められています。図書館では、この人権週間にあたって資料展を開催し、お一人お一人が人権について考えて頂けるよう、関係図書をご紹介しました。

☆ その他の展示 ☆

《ごみ減量化と環境美化に関する標語・ポスター展》

期間…平成23年1月5日(水)～1月16日(日)

場所…談話室

《「早寝早起き朝ごはん」ポスターコンクール入選作品展》

期間…平成23年2月2日(水)～2月13日(日)

場所…談話室



☆土曜サロン これからの予定☆

4月16日(土) 14:00～ 図書館1階談話室

子ども読書の日記念講演会「子どもが本と出会うこと～その喜びと幸せ～」 近江兄弟社学園図書館長 太田典子氏

今月のデジタルアルバム帖

4・5月 「滋賀の樹木」 -語りつがれる名木-

永く寒い冬が去り、ようやくうらかな春がやって来ました。木々は芽吹き、花が咲く季節です。滋賀県には、名木と言われる様々な樹木があります。

今回は、桜、松、楓等々、滋賀にゆかりの深い樹木を紹介します。

【右の写真】 海津大崎の桜並木→
「原色刷十六景 琵琶湖」絵葉書より



湖国の本棚

『近江戦国スケッチ紀行』

寺田みのる画 木村至宏文 サンライズ出版 2010年 (2,200円+税)



NHKの大河ドラマの主人公である江が生きた戦国時代は、近江が日本史の表舞台であった時期の一つでした。近江を制することが天下人となる第一条件であり、天下を目指した織田信長や豊臣秀吉のほか、浅井長政や明智光秀、石田三成など多彩な武将が活躍しています。

県内各地には、小谷城跡をはじめとする各城跡や旧城下町・合戦場など戦国時代の史跡が多く残っていて、滋賀の大きな魅力になっています。

本書は、県内の主な戦国史跡の現在の様子を美しい水彩画で描いたものです。解説、所在地、交通手段も書かれています。

郷土資料紹介 平成22年10月～平成23年2月購入・寄贈分郷土資料紹介
<<2010年10～11月受入分>>

- 戦国期六角氏の地域支配 地方寺社への関与を手掛かりに
新谷和之 [著] 大阪市立大学日本史学会 2010年
- 相谷熊原遺跡発掘調査現地説明会
滋賀県教育委員会・滋賀県文化財保護協会編集 滋賀県教育委員会 2010年
- 「いのち」「平和」「環境」
道城献一著 近江兄弟社学園広報部編集・挿絵 近江兄弟社学園 2010年
- ロトチェンコ+ステパーノワ ロシア構成主義のまなざし
朝日新聞社 2010年
- ガジュマルは石を抱いて生きる
野口観道著 文芸社 2010年
- 新福寺ものがたり
大橋正典編著 新福寺 2010年
- 市内遺跡詳細分布調査報告書 2 (平成17～21年度調査)
草津市教育委員会編・刊 2010年
- 弘部野南海道遺跡, 滋賀県高島市今津町 南極地区の調査
高島市教育委員会編・編 2010年
- 西万木遺跡 滋賀県高島市安曇川町西万木
高島市教育委員会編・刊 2010年
- 古文書と絵図にみる湖辺の暮らし 平成22年度企画展
滋賀大学経済学部附属史料館編・刊 2010年
- 反魂香を聞きつつ 近江日野商人と浄土真宗
園城心清著 朝日カルチャーセンター 2010年
- 小説夜の群像
サワダオサム著 ニュースマーケティング研究所 2010年
- 晩節の宝石箱
中尾實信著 鳥影社 2010年
- ふるさと笠縫
川端善二著・刊 2010年
- 暮らしと歴史のまなび方 知内「村の日記」からの出発
「村の日記」研究会編 関西学院大学社会学部古川研究室 2010年
- 師走の朔日
筒井澄著 文芸社 2010年
- 白洲正子「神と仏、自然への祈り」 生誕百年特別展
白洲正子 [著] 滋賀県立近代美術館 2010年

- **写真と歩ゆむ 岩見茂子写真集**
岩見茂子著・刊 2010年
- **草津歩こう会四方山話100話 歩いて、歩いて、健康に**
中村啓一著・刊 2010年
- **金剛輪寺下倉米銭下用帳**
愛荘町教育委員会編・刊 2010年
- **国指定名勝多賀大社奥書院庭園保存修理工事報告書**
多賀大社・多賀町教育委員会・滋賀県文化財保護協会編・刊 2010年
- **愛東地区建築関係史料調査報告書**
東近江市教育委員会編・刊 2010年
- **百済寺文書調査報告書 滋賀県東近江市百済寺町**
東近江市教育委員会編・刊 2010年
- **『比留田の曳山』調査報告書**
ひるた曳山保存会編・刊 2010年
- **水口藩加藤家文書調査報告書**
甲賀市教育委員会編・刊 2010年
- **北脇遺跡第12次・下川原遺跡第10次発掘調査報告書**
甲賀市教育委員会編・刊 2010年
- **近江国水口藩加藤家家譜**
甲賀市教育委員会編・刊 2010年
- **教育研究開発学校事業第1年次報告集, 文部科学省平成21年・22年・23年度指定**
滋賀県立日野高等学校 2010年
- **高月南遺跡 1**
高月町教育委員会・長浜市教育委員会編集 高月町教育委員会 2010年
- **青地城跡発掘調査報告書**
草津市教育委員会編・刊 2010年
- **オールドオーツ「物語の誕生」写真集, 写真がつなぐ過去と今。ー物語がつむぐ人とまちの未来**
滋賀会館企画・編集・刊 2010年
- **ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書 37-4 (3分冊)**
滋賀県教育委員会文化財保護課・滋賀県文化財保護協会編集
滋賀県教育委員会 2010年
- **中世のやきもの 六古窯とその周辺**
Miho Museum編・刊 2010年

- 無尽蔵 伊藤博遺作写真集
伊藤博・写真 伊藤聡・刊 2010年
- 小谷城と城下をゆく 近江浅井氏
小谷城下まちめぐりウォーク実行委員会編・刊 2010年
- うたの散歩／どんどひぶの響きー水口ばやしのふるさとー
吉村克之著・刊 2010年
- 大定木遺跡発掘調査報告書 平成21年度調査
草津市教育委員会文化財保護課編集 草津市教育委員会 2010年
- 門ヶ町遺跡発掘調査報告書
草津市教育委員会文化財保護課編集 草津市教育委員会 2010年
- 草津宿場町遺跡（第7次）発掘調査報告書
草津市教育委員会編・刊 2010年
- 認知症の医療とケア 続 「根拠あるケア」を追い求めて
藤本直規・奥村典子著 クリエイトかもがわ かもがわ出版（発売）2010年

<<2010年10～11月受入分>>

- 江
中島道子著 世界文化社 2010年
- 新・消えた轍 8
寺田裕一著 ネコ・パブリッシング 2010年
- エメラルド・タブレット
苗村吉昭著 霽標 2010年
- お江戦国の姫から徳川の妻へ
小和田哲男著 角川学芸出版 角川グループパブリッシング（発売）2010年
- 江の生涯
福田千鶴著 中央公論新社 2010年
- 福井藩
舟澤茂樹著 現代書館 2010年
- 僧兵＝祈りと暴力の力
衣川仁著 講談社 2010年
- 西田天香の世界 2
西田天香著 京都 一燈園生活研究所 京都 灯影舎（発売） 2010年
- 戦国を終わらせた女たち
童門冬二著 日本放送出版協会 2010年
- 戦国三姉妹
小和田哲男著 角川学芸出版 角川グループパブリッシング（発売）
2010年

- **浅井三姉妹江姫繚乱**
篠綾子著 日本放送出版協会 2010年
- **お江の方と春日局**
植松三十里著 日本放送出版協会 2010年
- **お江旅**
交通タイムス社 2010年
- **江史跡紀行**
小和田哲男監修 新人物往来社 2010年
- **戦国三姉妹の栄華と悲惨**
立石優著 明治書院 2010年
- **浅井（あざい）三姉妹を歩く**
長浜市長浜城歴史博物館編 サンライズ出版 2010年
- **小堀遠州の美を訪ねて**
小堀宗慶著 集英社 2010年
- **商家の家訓**
吉田實男著 清文社 2010年
- **乱世を駆けぬけた姫お江**
新井恵美子著 北辰堂出版 2010年
- **戦国政略結婚史**
高野澄著 洋泉社 2010年
- **三成死すべし 2、3**
尾山晴紀著 学研パブリッシング 2010年
- **週刊歴史でめぐる鉄道全路線 no.18**
曾根悟監修 朝日新聞出版 2010年
- **江ガイドブック**
新人物往来社 2010年
- **近江古代史への招待**
松浦俊和著 京都新聞社滋賀本社・京都新聞出版センター 2010年
- **お江**
国松俊英著 十々夜画 岩崎書店 2010年
- **お江と徳川秀忠 101 の謎**
川口素生著 PHP 研究所 2010年
- **ラーメンWalker 京都+滋賀 2011**
ラーメンWalker 京都+滋賀 2011 2010年
- **江 浅井(あざい)三姉妹の生涯と戦国**
坂本優二著 河出書房新社 2010年

- 仏像巡礼
駒澤[タン]道写真 青幻舎 2010年
- 廃墟となった戦国名城
澤宮優著 河出書房新社 2010年
- NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」完全ガイドブック
ニュース企画責任編集 東京ニュース通信社 2011年
- 京都戦国地図本
ユニプラン 2011年
- 信長革命
藤田達生著 角川学芸出版 2010年
- 歴史の旅織田信長
講談社 2010年
- INAZUMA ROCK FES. 2010
エヌイーエフ 2010年
- お江と戦国の姫たち
加来耕三監修 アスペクト 2011年
- 戦国残照お江とその時代
志村有弘編 勉誠出版 2011年
- 超歴史ミステリーロマン vol.1
超歴史ミステリーロマン取材班編 マイクロマガジン社 2007年
- 徳川秀忠と妻お江
立石優著 PHP 研究所 2011年
- 江姫
笠倉出版社 2011年
- 江姫たちの戦国
日本放送出版協会 2011年
- 戦国の聖地を巡る
江・浅井三姉妹博覧会実行委員会編・刊 2010年
- 誰も知らなかった江
宮本義己著 毎日コミュニケーションズ 2010年
- お江流浪の姫
植松三十里著 集英社 2010年
- 江と戦国と大河
小島毅著 光文社 2011年
- お江
武光誠著 平凡社 2011年

- **るるぶ近江びわ湖滋賀 '11~'12**
JTB パブリッシング 2011 年
- **見えない言葉が聞こえてくる**
福井達雨著 いのちのことば社 2011 年
- **大国主対物部氏**
藤井耕一郎著 河出書房新社 2011 年
- **ヤマト政権誕生と大丹波王国**
伴とし子著 新人物往来社 2011 年
- **真二つ**
山田洋次作 鈴木靖将絵 新樹社 2011 年
- **江三代将軍家光の母崇源院**
メディア・ボーイ 2011 年
- **夕げの匂(におい) オレンジ色の空**
福山聖子著 工房森のしずく 2010 年
- **歴史の旅お江**
講談社 2010 年
- **江**
畑裕子 角川マーケティング 2011 年
- **お江**
中江克己[著] 学研パブリッシング 2010 年
- **滋賀の食事文化(年報) 第19号**
坂本裕子編集 滋賀の食事文化研究会 2010 年
- **湖北残照 歴史篇**
豊島昭彦著 サンライズ出版 2010 年
- **女たちの戦国**
鈴木由紀子著 幻冬舎 2011 年
- **現存12天守閣**
山下景子著 幻冬舎 2011 年
- **近江春夏秋冬-心の紀行**
森定学著 文芸社 2011 年
- **ガールズ★イン★戦国時代**
まめこ著 外川淳監修 朝日新聞出版 2011 年
- **美紗姫物語**
志村ふくみ著 求竜堂 2011 年
- **安土城の幽霊**
加藤廣著 文藝春秋 2011 年

- **天智と持統**
遠山美都男著 講談社 2010年
- **琵琶湖・近江**
JTBパブリッシング 2011年
- **独白**
中嶋ひろむ著 中嶋ひろむ 2011年
- **近江植物風土記**
滋賀植物同好会 サンライズ出版 2011年
- **東海道五拾三次**
歌川広重[画] 佐々木守俊解説 二玄社 2010年
- **浅井長政とお市の方**
近衛龍春著 PHP研究所 2011年
- **火の姫**
秋野香乃著 文芸社 2011年
- **戦国girl江**
主婦の友社 2011年



図書館エール

地震等被災者の方々へのサービスについて

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

滋賀県立図書館では、滋賀県で避難生活を送っておられる方々に対して、図書の出借を行っておりますので、参考資料室カウンターでご相談ください。

また、被災地（青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県）からのレファレンスをお受けしています。内容は、滋賀県関係だけでなく一般的な質問もお受けしますので、生活上の困ったことなど何なりとお問い合わせください。なお、ご質問は電話、FAX、メールでお受けいたします。

滋賀県立図書館

【受付先】

〒520-2122

大津市瀬田南大萱町1740-1 滋賀県立図書館 調査協力課

電話 077-548-9691

FAX 077-548-9790

メールレファレンスのURL↓

http://www.shiga-pref-library.jp/d_reference/refnotes.html